

地域にはばたく市民パワー!

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙
2010年7月号(第30号)
発行責任者 山田 武

ところざわ倶楽部自前講座報告

7月8日(木)小手指公民館分館ホールにて16期終了の中村正實当倶楽部理事による講演会が行われた。氏は長く建築産業に携われ現在(NPO法人)建築技術支援協会理事を務め、リフォーム・インテリア関係の著書も著されている。傍ら30年に亘って個人的に材料の歴史を調査研究されている。今回は、会員のみを対象にした講座であり参加者は75名だった。

＜講演内容＞

「ものから見る世界史(ものから見た壮大な歴史絵巻)」をテーマに我々が昔教科書で習った専ら時の権力者や勢力地図の変化に基づいた世界史をその考察の視点を変え、「もの」から見る



ることにより、その時代の背景や流れ、戦争や交易による文明文化の衝突・交差交換・交流の拡がりなどを通して歴史の背後にある庶民の創意や工夫、それらを拡販する世界にまたがる交易網の立ち上げ等を、具体的には紙(文字)・絹・ガラス・陶器の発展の歴史を辿ることにより今までに無い歴史観を繰り広げた。■タラス湖畔の戦いで捉えられた唐の捕虜から紙漉き技術がオリエントに伝わり、のちには唐から技術者を招聘、本格的に紙の生産を始めたとか、■織物技術の発展により絹は唐時代の重要な交易品となり膨大な利益をもたらした中国を強大国にした。交易の主要商品が絹だったためそのルートはシルクロードと呼ばれ海路も入れれば4本あるとか、■ガラス・陶器の歴史も含め正倉院御物への繋がり、何故日本の陶器が伊万里、柿右衛門、鍋島にまで至ったのか、その歴史的背景はとか、■奈良の大仏の(当初)金塗装は水銀の力を借りたなど興味深い話題満載で聴衆の興味を誘い講評だった。おわりに、現代に生きる私たちは、先史時代に無から有を生んだ当時の人たちに敬意を払い謙虚になる必要があると結んだ。 企画部 渡邊浩平 記

＜今年度の全体活動計画&実績＞

月・日	内容	場所
H21 11.19	第3期 定期総会	市民文化センター
H22 2.6	講演会及び サークル紹介・勧誘	所沢市 保健センター
3.17	公開講演会 「藤沢周平の魅力」	小手指公民館 分館
5.27	工場・施設 見学会	サントリー武蔵野工場 府中郷土の森博物館
7.8	市民大学受講者による 講演会	小手指公民館 分館
9. 14~23	活動展示及び、散策会 &講演会 他	いきものふれ あいの里、他
10.	サークル活動報告会& 親睦会	

- ・詳細日程については確定次第お知らせします。
- ・太枠、網掛け部分は実績を表します。

＜9月度 全体活動企画変更のお知らせ＞

9月度の全体活動は当初「日帰りバスツアーを計画しておりましたが、日程の都合で変更になりました。今年10月に名古屋で開催されるCOP10*に関連して、ところざわ倶楽部に協力要請が来ていますので、9月はこれらのイベントを中心に企画をすることに致しました。バスツアーは見送りとさせていただきますのでご了解とご協力をお願い致します。

(*COP10・多様な生物や生息環境を守り、その恵みを将来にわたって利用するために結ばれた生物多様性条約の10回目の締約国会議) 詳細の計画については別途、ご案内を致しますが、現時点での概要は以下の通りです。

- いきものふれあいの里センターでの活動
期間：9/14~23(但し、21日は休館日)
内容：①倶楽部の関連サークル活動展示
②近隣散策会+講演会(16,22日の2回)
③オカリナ教室(演奏と指導)

■「農」と里山シンポジウム

- 日時：9/18(日)
- 場所：ミューズ マーキーホール
- 内容：三富(さんとめ)地域の未来について

「第3期-7回 理事会報告」

日時 h22.6. 14 (月) 10:00~12:40

場所 新所沢コミュニティセンター別館

内容

■ところざわ倶楽部の問題点と改善案

- ・現在の問題点を整理し共通認識とし、改善案について審議し一定の方向付をした。
- ・これらの事項を元として「ところざわ倶楽部会則」の改正、業務の運営事項など具体的な案を、会長、副会長、代表理事でまとめ次回理事会で再審議することにした。

■第4期定期総会の日時・場所など決定

- ・日時 h22. 11. 5 (金) 13:00~17:00
- ・場所 中央公民館 ホール
- ・出席者 現会員及び第17期入会者
- ・その他 講演会は行わず、別なものを検討する。

■7月度・自前講座について

7/8日(木) 13:30~ 小手指公民館分館
テーマ「ものから見た世界史」(中村正寛氏)
ところざわ倶楽部では、会員、市民大学在校生及び会員の知人などへの声かけを決める。

※ 連絡責任者からの声かけもお願いします。

<日時等の詳細は6月号「広場」参照>

■9月度・事業計画(バス旅行)の中止

9月は「生きものふれあいの里センター」行事への参加など、行事の輻輳により中止することに決定した。

■第1回ふれあいプロジェクト会議の報告

<内容は6月号広場参照> 次回の会議は、

- ・6月23日(水) 10:00~12:00
- ・新所沢コミセン別館で開催。
- サークル代表者会議について
- ・6月25日(金)、10:00~12:00
- ・新所沢コミセン別館で開催。
- ・主な議題 「サークル発表をどうするか。」
- 「所沢の自然と農業」サークルからの提案
「里山シンポジウム」開催:9/18(土)
於:ミューズ(マーキーホール)について
下記の提案があり、了承された。
- ・関係サークルのパネル展示の依頼
- ・実行委員会に「ところざわ倶楽部(市民大学修了者の会)」の名称の使用について

<次回理事会>

日時:h22. 7.12. (月) 10:00~12:00

場所:新所沢コミセン別館 2、3号室

出席者:理事

◇ 市民大学は 今 ◇

17期活動

■課外授業

6月18日に好評であった1年次の「流行歌の歴史:幕末・明治編」の続編として「流行歌の歴史:大正編」を若山グループリーダーを講師として実施しました。

新しい芸術活動の勃興、歌謡史から見た大正時代、日本のオペラの導入から、浅草オペラの隆盛、童謡運動など幅広い話と、参加者が一緒に口ずさんだ数々の懐かしい歌など、大いに楽しませていただきました。

■グループワーク

早いもので夏休みを除くと活動期間は残すところ実質2ヶ月間となりました。

やっと盛り上がって来たのに発表会がチラチラと頭をよぎる人もいるようですが、7月一杯頑張り、8月はゆっくりして体調を整え、9月からの纏めに取り組むことにしています。

■7月にはグループワーク発表会、学びの記録製作、閉講式&修了パーティなどの実行委員会も立ち上げる予定です。

18期活動

■6月8日、18期開講式が行われました。

佐藤教育長、清水企画委員長をお迎えして、18期開講式が盛大に行われました。

来賓のお二人からは、応募者1.8倍の中から選ばれた受講生に向け、この2年間、おおいに学びそして楽しい仲間づくりを期待するお祝いの言葉が述べられました。開講式につづく特別講演、高橋玄洋先生による「後半生の選択」では、人生の五計(生計、家計、身計、老計、死計)について語られました。また、心は常に平らに、日々生まれ変わる新鮮な気持ちで過ごすこと、今の今を大切になど、これからの道しるべをお話いただきました。

■15日より第1回講義、生涯学習推進センターふるさと研究担当職員の木村立彦氏より「所沢の歴史概説」、22日は明治大学名誉教授渡辺隆喜先生の「明治維新と西武地域」が行われました。

■次回7月6日から2週つづけて、武蔵野大学名誉教授松村武夫先生より古典文学講座「平家物語の世界」をご講義いただきます。受講生の皆さんは、講義に熱心に耳をかたむけて、学ぶ楽しさを実感している様子です。

サークル活動計画

- 興味がある活動には、他サークルの方も参加して見ませんか。
- 参加希望者は代表者に事前に必ず電話して下さい。



ダースの会 (齊藤昌宏 2998-0406)

7/7 (水) 定例会・学習会歌舞伎 DVD「義経千本桜」
 7/11 (日) 国立劇場歌舞伎鑑賞教室「身替座禅」
 7/21 (水) 課外活動・場所未定
 8/4 (水) 定例会・学習会歌舞伎 DVD 鑑賞・暑気払
 8/18 (水) 日帰バス旅行・歌舞伎文化公園他 (山梨)

アジア研究会 (黒見徳美 2995-4290)

7/21 (水) 定例会 13時30分~16時
 場所/中央公民館 8・9号学習室
 テーマ/北京の55日 一義和団事件—
 (ビデオ鑑賞及びミーティング)
 8/25 (水) 定例会予定

傍聴席 (高垣輝雄 2926-7164)

7/12 (月) 定例会 15時~17時 中央公民館
 議題 *広報ところざわを読む *ブログ情報
 *藤田博司先生特別講義と17期生との合同
 ミーティング
 *終了後「暑気払い懇親会」を予定

楽悠クラブ (甲田和巳 事前連絡は不要です)

7~8月はワーグナーの傑作「ニーベルングの指輪」
 のうち、序夜と第1夜をDVD鑑賞!!
 ☆7月20日(第三火曜日) 13:15~
 楽劇「ラインの黄金」 ●中央公民館
 ☆8月1日「名曲アルバム・コンサート(ショパン)」
 ●ミュージズ・アークホール(申込は締切りました。)
 ☆8月11日(水) 13:15~ 楽劇「ワルキューレ」
 ●中央公民館 ●当日、「暑気払い」を予定。
 ☆8月22日~29日 ドイツ旅行(申込は締切りました。)
 藤田明先生と有志でシューマンゆかりの地を訪ねる。

地球環境に学ぶ (塚本二郎 2942-3117)

7/20 (火) 定例会 15:00~
 新所沢コミュニティーセンター別館(学習室5号)
 ・ふれあいプロジェクトの展示物の決定
 ・9月上旬のバスによる見学会の実施要領の確定
 (サークル員には概要を事前に連絡します)

地域の自然を考える会(海老沢 2922-0259)

7/9 (金) 旧町の歴史探訪(Aコース)
 中央公民館ロビー 12時50分集合
 7/24 (土) 早稲田B湿地 蛍観察会に参加
 8月 定例会中止
 9/14~23 ふれあいプロジェクト参加(別途連絡)

地域の自然(加茂恵三 2944-6554)

平成22年度みどりの埼玉づくり県民提案事業補金
 2年続けて承認される
 7/31 (土) 13:00 講演会早大116号室にて
 「所沢市内の雑木林の再生と保存」
 (県の施策と市民の取り組み)について

所沢の自然と農業(都築 2996-1972)

7/4 懇親会 中富ファーム
 7/13 定例会 13:30~ 生涯学習推進センター
 7/25 関谷農園イベント実施
 8/初旬 農と里山シンポジウム実行委員会
 8/10 定例会 13:30~ 生涯学習推進センター

歴史散策クラブ(大河原功 2943-2004)

7/10 (土) 中世の所沢勉強会
 時間・場所: 9:30・新所沢公民館
 8/7 (土) 中世の所沢勉強会/暑気払い
 時間・場所: 9:30・新所沢東公民館
 *担当は両日とも門内先生

ドラマティック・カンパニー(梅本 2926-8723)

7月の活動予定日は次のとおりです。
 ◎3日(土)、17日(土) a.m.10:00~12:00
 ◎場所=新所沢コミュニティーセンター別館
 ◎「リチャード三世」を読み進めます。
 *8月の活動予定については、現在未定です。

北欧の会(樋口俊夫 090-6483-7993)

7/17 (土) 第14回例会 13時20分
 北欧諸国の経済力が強い理由等(その2)
 8/5 (木) 第15回例会 15時
 デンマーク大使館訪問 および北欧料理店での
 懇親会

おたまじゃくしの会(岡本 2948-7674)

7月例会
 7月24日(土) 15時~
 所沢フィル演奏会鑑賞(市民文化センター)
 8月例会
 休会

公園を楽しむ会 (加曾利 2939-2308)

次回7/29 (木) 公園に関する安藤先生のDVDを
観賞します。(セントラルパークなど)

8/26 (木) は、役割分担した公園についての
報告会を実施します。詳細は6月定例会の議事録を
参照下さい。

野老澤の歴史をたのしむ会 (嶋崎 2948-7331)**☆所沢陸軍飛行場外周ウォーキング (約10キロ)**

- ・日 時 7月15日 (木) 集合時間 AM9:00
- ・集 合 航空公園駅 (バス停前)
- ・天 候 小雨決行 ・希望者は誰でも OK
- ・持ち物 晴雨に応じた傘等 ・昼食 (市役所食堂)

私たちのサークル活動紹介

アジア研究会 池田 (2940-0711)

■ 会員紹介

アジア研究会は14期を主体に現在26名のメ
ンバーで活動しています。14期20名、15期
3名、16期3名です。男女比は男性17名、女
性9名。サークル発足3年目を迎え、活動もよ
うやく軌道にのってきて、毎回約20名の会員が
参加して、毎月のテーマに熱心に取り組んでいま
す。

■ 今年度の活動状況

初年度韓国、2年目インドに次ぎ本年度は中国
をテーマに学習しています。中国は上海万博始
め、チベット問題、通貨問題、ギョウザ問題等、
ホットなニュースがマスコミを賑わして話題は
尽きず、高齢にもかかわらず、会員の皆さんは今、
中国にはまっています。

本年度の活動

- ・ 1月/中国の現状 小椋雄二氏 (会員)
- ・ 2月/シルクロードの今昔西安 ビデオ鑑賞
- ・ 3月/日本で驚いた事、感じた事
講師/早稲田大学院中国人留学生
- ・ 4月/百聞は一見に如かず (私が見た日本)
講師/陳健新氏 (所沢在住中国語教師)
- ・ 5月/日中異文化 渡邊浩平氏 (会員)
日中文化の夕べ (野方区民ホール参加)
- ・ 6月/私と中国
講師/高橋莞爾氏 (所沢在住中国史専門)
- ・ 7月/北京の55日 (義和団事件)
ビデオ鑑賞予定

■ 今後の活動

今までは上記のように「中国を知る」という
事を主体に学習してきました。講師を依頼して
の講演、会員のレポート、ビデオ鑑賞、懇親会等
楽しく活動しています。今後も多角的に面白いテ
ーマを探りながら活動していきます。講演会等、
興味のある方は是非ご出席下さい。

葵の会 (池田新八郎 2940-0711)

7/15 (木) 定例会 13時30分~16時

新所沢コミュニティーセンター別館

古典講座③ 万葉集 (柿本人麿) 小川達雄先生

7/16 (金) 納涼能 宝生能楽堂 (観劇)

「井筒」、「六地藏」、「船弁慶」他

<事業部活動と今後の予定>**1. ふれあいプロジェクト 第2回会議報告**

6月23日 (水) 10:00~12:00

COP10の年にあわせて、いきものふれあいの
里センターで実施する、市民と狭山丘陵の関
わりを示す企画に参加

◎ 9月14日 (火) ~23日 (木)

◎ 自然・環境等関連7サークルの展示

◎ センターを目的地とする散策2コースを選
定し、到着後自然をテーマの講義を聞く

◎ オカリナの演奏と体験

◎ 期間中の9月18日 (土) は、「農と里山
シンポジウム」もミューズで開催される。

*次回会議 7月16日 (金) 13:00~

新所沢コミュニティーセンター別館

2. サークル代表者会議 第2回会議報告

6月25日 (金) 10:00~12:00

サークル活動報告会について

1) 17期生を対象として同期の企画委員によ
るサークル活動説明会を行う。(10/22)

2) 在籍者を対象としては、総会時にサークル
活動報告の印刷物を配布、集会はしない。

3) 親睦のための懇親会を別に企画する。

総会について

11月5日 (金) 13:00~17:00

中央公民館ホール

総会議事の開始前に、ドラマティック・カ
ンパニーによる出演を予定。

*次回会議 3ヵ月後を予定

誰でも・何でも掲示板

■皆さんの投稿をお待ちしています。



— 所沢の旬の花・自然 —

サツキ(皐月)

地域の自然 (加茂恵三)

34年前に現在の地に家を持った。引越しが終わり、庭に植える草花を探しに、近くにある園芸店を訪れた。サツキが咲く季節であり、当時のサツキブームも手伝って、広い売り場にはたくさんのサツキが並べられていた。品種の多さ、大小の花と彩りの華やかさに惹かれたが、何より驚いたのは一本の木に種々な花を付けていることであった。購入前に関連本で知識の習得に努め、その上店頭での指導を受けるものの、転勤で実現できず退職後数年過ぎてからで、今年でようやく三年目を迎えている。

サツキは日本固有の花木で関東以西から九州まで広く分布し初夏の山野を美しく彩る。他のツツジと共に、古くから鑑賞されたことは「万葉集」にこの花を詠んだ歌が収められている。

サツキが古文書に区別されて出てくるのは俳書「毛吹草」に五月の季語として“五月つつじ”とでている。

サツキの栽培の起源は明らかではないが、1692年(元禄5年)に書かれた江戸染井の伊藤伊兵衛著「錦繡枕」には162種を図示し栽培法、繁殖法が記述されている。ツツジとの区別として春咲くものを「ツツジ」、初夏咲くものを「サツキ」という。その後サツキは花を楽しむだけではなく、花木盆栽の代表として扱われ、木全体の姿を楽しむ素材ともなっている。毎年花の後での整姿、三年に一度の植え替え、何よりも乾燥を嫌うので、毎日の水遣りが欠かせない。病気には強いが害虫には細心の注意が必要である。



特別会員からのメッセージ

「気品と潤いが感じられる人々」

17期 音楽講座担当 藤田 明先生
ドイツやオーストリアに行く度に強く感じることは、人々の気品の良さである。これはいったいどこからくるのだろうか。

その要因と思われる一つにまず環境があげられる。ドイツやオ



ーストリアは、街並みが整然としていて美しく、森や大きな公園も多い、そして古い建物がよく保存されているので、時があたかもゆったりと流れているかのように感じられる。そんなところで人々が生活をしているから心にゆとりが生まれるのかもしれない。また、彼らはよく着替えをして気持ちをうまく切り替えている。例えば、演奏会にはおしゃれをしていく。演奏会は社交の場でもあり、心を豊かにする場であると考えているからだ。だから、演奏会の会場に入るだけで、演奏も始まっていないのに華やかな気分になる。それに比べ日本では、演奏会はただ演奏を聞くことだけが目的であって、雰囲気なんて必要ないと思っている人が多いように思う。先日も、ギター演奏会に招待されて行ったのだが、聞きに来た人の多くが、まるでスーパーにでも買い物に行くような格好であった。そんな雰囲気の中では、気分も沈んでしまう。時と場合に合わせた服装と振る舞いが、望ましいと感じる。



写真 上：レストラン「オーバーアマガウ」
下：ニンフェンブルク宮殿にて



私の地域活動

～学びを地域に広げよう～

総務部 中島峯生

「地域とともに～出会い、生きがい、楽しんで～」平成8年に発足した小手指メンズクラブが19年に作成した自分史のテーマです。私は、小手指公民館を中心に活動しているこのクラブの会員です。公民館主催の男性のための「小手指メンズカレッジ」の卒業生で作る組織で、多彩な経歴を持つ人が集まり、毎月の例会での発言は様々な生活の場で刺激を得るきっかけになります。クラブの存在自体が社会貢献だと言う会員も居る程です。文化祭のチャリティーバザー売上金で朗読ボランティア会へ録音テープを寄贈しましたが、福祉団体への寄付は大変喜ばれています。彩の国ロードサポートは、国道463BPの小手指ヶ原一西高入口交差点間を担当しています。空き缶、吸殻、レジ袋等、なぜここに捨てるのかと思います。茂る雑草など、車で走ると分からないものも見えます。道の両側の花壇も我々の管理です。夢あかり音楽祭でのロウソクへの点火作業の他、サークル活動、飲み会、旅行等で楽しんでいます。第一線を離れた後、地域で仲間が居る生活をしている、そのことが、市民大学受講への足がかりになりました。

21
20
900

「ジャガイモ堀」に参加しませんか

日時：7/25（日）10：00～13：30（雨天中止）

集合場所：多間院駐車場

ジャガイモ堀をする「関谷農園」の自然栽培の野菜は農薬・肥料は一切使用していません！
安心・安全！！ 土の持つ本来の味が新鮮な野菜に活かされています。

関谷農園 Tel 関谷和博 090-4625-1664

参加費：1 家族 500 円（野菜のおみやげ付き）

+ 普通傷害保険（1 人 50 円）

■ イベント内容

- ① ジャガイモ堀り体験
- ② ジャガイモの試食と夏野菜の試食
- ③ 自然栽培の夏野菜の即売会

■ 持参するもの：弁当、飲み物、軍手、タオル、スーパーのビニール袋

■ 服装：帽子、汚れても良い服装&長靴、着替など

■ 申込み締切期日：7月20日（火）

*** 募集人数 先着 30 名さま ***

■ 申し込み・問合せ先：所沢の自然と農業サークル

・ 都築拓郎 Tel&fax 04-2996-1972

・ 後藤律子 Tel&fax 04-2944-1470

申込みは参加者名などを記入の上 FAX 願います

私たちは、安心・安全な農産物の生産・販売のため、地元の若い農家を応援しています

文芸コーナー

半世紀経て梅雨寒の樺の忌

平栗彰子



樺美智子さんは、一九六〇年六月十五日に安保闘争の全学連と警官隊の衝突の中で犠牲となった。その日から五十年が経った今、日本は国際社会でどのように進んでいくのだろうか。私は、当時高校生で、クラスでデモに参加するかどうか議論した事を覚えている。

作者は、樺さんが亡くなった時、同じ渦の中にいたという。現在の社会は、当時のような物事に真剣に取り組む熱気は間違いなく失われ、国自体の活力も無くなってしまった。

私は、作者という、樺さんと同じ時代に生きた一人の人間を通じてこの句は必然的に生まれたと思う。「梅雨寒」で表された今の時代に対する悶々とした気持ちが出ていてのではないだろうか。「梅雨寒」でなく、もう少し明るい表現が使える良き時代が来る事を樺さんも望んでおられるのではないだろうか。

紫陽花や母の背中に貼り薬

飯泉陽子

紫陽花は、梅雨の季節になると美しさを増す。梅雨は、年寄りの体の古傷を痛ませる季節でもあるようだ。お母様の背中に薬を實際に張ってあげているのか、梅雨と共に思い出されているのか定かではないが、作者の優しさがよく表されていて心が和む。

海老澤愛之助

◇ 編集後記 ◇

参議院選も真っ盛り、所沢市でも「事業仕分け」が実施され、高速道路の一部無料化も始まりました。大きい所から地元まで色々気になりますが、先ずは 11 日に投票に行きましょう！

◇ 広場・問い合わせ ◇

中村 2921-3598 後藤 2944-1470
甲田 2924-0172 清水 2944-8835
荒幡 2922-0318 堀内 2924-1979